

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【3】民間技術の積極的な活用 施策12】

洗掘防止マット厚さ軽減と大型化によりコスト改善

工事名：山元海岸S4号北突堤工事

概要：ヘッドランドの安定性を確保するためには基礎の洗掘防止対策が重要であり、海底の被覆工法としてアスファルトマットを用いた工法が広く採用されています。今回、民間の水理模型実験結果からマットの波に対する所要安定重量（厚さ）の軽減を図ることが可能となりました。また、併せてマットの重ね合わせによるロスを減らすため、マットを大型化し、コスト改善を図ります。

効果：マット厚の軽減と大型化により、設置枚数が減るため工期短縮が図られる。アスファルトマットに要する工事費を96百万円から67百万円に改善。（改善額 29百万円、改善率 約7.7%）

